

もみすりには、軟式野球ボールの
硬さがちょうどいいよ!



①脱く (穂からもみをとる)



茶わんや牛乳パックの中
に穂を入れて引っ張ると、も
みが容器の中に残ります。

②もみすり (玄米にする)



すりばちにもみを一握り入れ、
軟式野球ボールでゆっくり上
の方ですり上げます。息をふきか
けて、もみがらを飛ばします。

③精米 (白米にする)



玄米をビンに入れて
棒でつき、出てきた粉
(ぬか) はふるいなどで
落とします。

上手につくるポイント

台風対策

台風などの強風の時
はバケツ稲を屋内の冷
房が効いていない場所
に移動させましょう。

スズメ対策

稲の周りに園芸用
の支柱をたて、隙間
がないように網を張
ります。

病虫害対策

はん点などが出た病気の葉や、害虫は
その場で取りのぞき、病気の稲は他の稲
と離して育てます。バケツの水にボウフラ
が発生した時は、水と一緒に流し出して
新しい水に入れ替えます。

水温管理

水は20℃～30℃が
適温です。水温が高く
なりすぎる場合は、水
を入れ替えましょう。

JAグループがすすめる 「よい食プロジェクト」とは

心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産と日本の農業のファンになっていただくという運動です。バケツ稲づくりセットには、子供たちに稲作体験をしてもらうことで、農業を身近に考えるきっかけになってほしいという想いが込められています。

JAグループが提起する 「国消国産」とは

「私たちの『国』で『消』費する食べものは、できるだけこの『国』で生『産』する」というJAグループの考え方です。できるだけ国産のものを食べて農家さんを応援し、生産現場を支えることが、私たち自身の「食」を未来へつなげることと考えています。

バケツ稲づくりマニュアル

【監修】石井卓朗 (国立研究開発法人 農研機構 作物研究部門スマート育種基盤研究領域長 農学博士)

【参考文献】『お米が実った!』(JA全中) 『ジュニアファクトブック 食料・農業・JA 改訂版』(JA全中)

シリーズ『写真でわかるぼくらのイネづくり』農文協編 (農文協)

シリーズ『米で総合学習 みんなで調べて育てて食べよう!』横田不二子著 (金の星社)

「農学基礎セミナー 作物栽培の基礎」栗原浩他著 (農文協)

【編集・制作】株式会社 日本農業新聞

バケツ稲づくり事業

主催：(一社) 全国農業協同組合中央会

後援：文部科学省 / 農林水産省 / 全国都道府県教育委員会連合会 / 全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会

協賛：全国農業協同組合連合会 / 全国共済農業協同組合連合会 / 農林中央金庫 / 全国厚生農業協同組合連合会 / (株)日本農業新聞 / (一社)家の光協会 / (一社)全国農協観光協会 / (公社)米穀安定供給確保支援機構

推薦：全国小学校理科研究協議会 / 全国小学校社会科研究協議会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 / 日本理科教育協会 / 日本理化学協会 / 日本生物教育会

わからないことが
あったら相談室に
質問してね!



バケツ稲づくり相談室

☎03-6281-5822

10:00 ▶ 17:00

(土・日・祝・年末年始はのぞく)

個人情報の取り扱いについて：いただいた個人情報
は、「バケツ稲づくり」事業の資料等の送付やバ
ケツ稲づくりに関する事業のみに使います。